

様式第4号（第9条関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月30日

(宛先)

埼玉県西部環境管理事務所長 殿



報告者

住所 〒358-8555 入間市上藤沢480番地

(株) 安川電機 入間事業所東京工場

氏名 東京工場長 渡邊 賢司

(電話番号) 04-2962-5151

埼玉県生活環境保全条例第20条第3項の規定により、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施の状況を報告します。

事業場の名称	株式会社安川電機 入間事業所東京工場
事業場の所在地	埼玉県入間市上藤沢480番地
事業の種類	電気機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月～令和6年3月

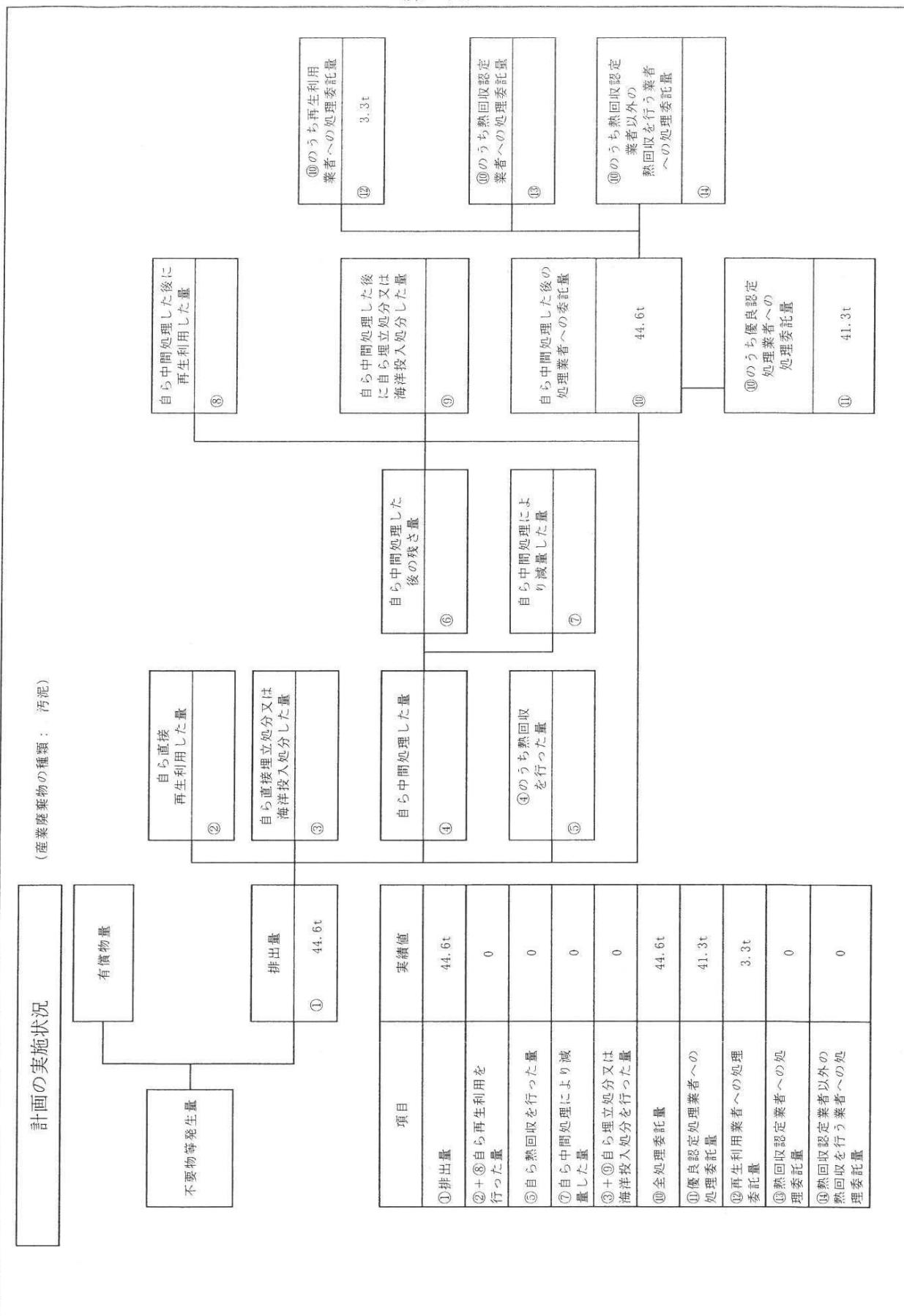
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	385.1 303.7 t	全処理委託量	385.1 393.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	76.1 80.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	309 -294.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況	
不要物等発生量	有償物量
① 157.1t	② 自ら直接再生利用した量
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量
⑤ 自ら熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後に再生利用した量
⑨ ⑩自ら埋立処分を行った量	⑩ ⑪のうち再生利用業者への処理委託量
⑩全処理委託量	⑫ ⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	⑬ ⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑫ 再生利用業者への処理委託量	⑭ ⑪のうち熱回収認定業者以外の処理委託量
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	⑮ 0
⑭ 熱回収認定業者以外の処理委託量	⑯ 41.5t
(第2面)	

(第2面) - 2

計画の実施状況	
(産業廃棄物の種類:木屑)	
不要物等発生量	有機物量
排出量	自ら直接 再生利用した量 ②
① 126.6t	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③
項目	実績値
①排出量	126.6t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	126.6t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	36.1t
⑫再生利用業者への処 理委託量	75.6t
⑬熱回収認定業者への處 理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への處 理委託量	0
自ら中間処理した後に 再生利用した量 ⑧	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑩のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑪
自ら中間処理した 後の残さ量 ⑤	自ら中間処理により減量した量 ⑦
自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑬	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑪
自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑪
自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 ⑫	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑪



計画の実施状況	
有償物量	不要物等発生量
① 排出量 47.2t	② 再生利用した量 ③ 自ら直接 自ら処理立処分又は 海洋投入処分した量 ④ 自ら中間処理した量 ⑤ 自ら熱回収を行った量 ⑥ 自ら中間処理により減 量した量 ⑦ + ⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量 ⑩ 全處理委託量 ⑪ 優良認定処理業者への 處理委託量 ⑫ 再生利用業者への處理 委託量 ⑬ 热回収認定業者への處 理委託量 ⑭ 热回収を行ふ業者への 處理委託量
自ら中間処理した後に 再生利用した量 ⑧	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨ 自ら中間処理した後 の残さ量 ⑩ 自ら中間処理により減 量した量 ⑪ 自ら中間処理した後の 處理業者への委託量 ⑫ 自ら中間処理した後に 熱回収を行ふ業者 への處理委託量 ⑬ 自ら中間処理した後に 優良認定業者への 處理委託量 ⑭
⑩のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑭	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑬ ⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行ふ業者 への処理委託量 ⑪ ⑩のうち優良認定 業者への 處理委託量 ⑫ ⑩のうち熱回収認定 業者への 處理委託量 ⑭

計画の実施状況	
不要物等発生量	有償物量
①	21.6t
排出量	自ら直接 再生利用した量 ②
③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
④	自ら中間処理した量 自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑤
⑥	自ら中間処理した 後の残さ量
⑦	自ら中間処理により 減量した量
⑧	④のうち熱回収 を行った量 ⑨
⑩	自ら中間処理した後 の委託量 自ら中間処理した後 の處理業者への委託量 ⑪
⑪	21.6t
⑫	⑩のうち優良認定 處理業者への 處理委託量 ⑬
⑭	⑩のうち再生利用業者への 處理委託量 ⑮
⑯	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への處理委託量 ⑰
⑱	⑩のうち優良認定 處理業者への 處理委託量 ⑲
⑳	⑩のうち熱回収認定 業者への 處理委託量 ⑳

計画の実施状況	
(産業廃棄物の種類: 鹿児島県)	
不要物等発生量	有機物量
① 排出量	自ら直接 再生利用した量 ②
① 1.05t	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③
	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ④
	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑤
	自ら中間処理により減 量した量 ⑥
	自ら中間処理により減 量した量 ⑦
	自ら中間処理した後 の委託量 ⑧
	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量 ⑨
	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量 ⑩
	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量 ⑪
	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量 ⑫
	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量 ⑬
	自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量 ⑭

計画の実施状況	
不要物等発生量	有償物量
①	②
排出量	自ら直接 再生利用した量
③	④
自ら中間処理した量	自ら中間処理した後 の残さ量
⑤	⑥
⑦自ら中間処理により減 量した量	自ら中間処理によ り減量した量
⑧自ら熱回収を行った量	⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量	⑪
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	⑫再生利用業者への処 理委託量
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	⑭燃熱回収認定業者以外の 処理委託量
⑮のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑯のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑰のうち再生利用 業者への処理委託量	⑱のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑲のうち熱回収認定 業者以外の 処理委託量	⑳のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑳	⑳

計画の実施状況	
(産業廃棄物の種類: 紙くず)	
不要物等発生量	有償物量
排出量	自ら直接 再生利用した量 ②
① 0.6t	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③
項目	実績値
①排出量	0.6t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.6t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	0.6t
⑬熱回収認定業者への處 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への處 理委託量	0
自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑤
④のうち熱回収 を行った量 ⑥	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦
自ら中間処理した後 の委託量 ⑩	自ら中間処理した後 の處理業者への委託量 ⑪
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑫	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑬
自ら中間処理した後 に自ら再生利用した量 ⑧	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑭
自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑮
自ら中間処理した後 に自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑫	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑯

備考

- 1 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
- 2 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記載すること。
- 3 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記載すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず自ら直接再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず自ら直接埋立処分又は海洋投入処分をした量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の残さ量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分をした量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、再生利用業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項)への処理委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への処理委託量
- 4 第2面の左下の表には、項目ごとに産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの産業廃棄物の実績値を記載すること。
- 5 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 6 ※印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。